

図書委員おすすめ書籍紹介

いつも 図書館をご利用いただきまして ありがとうございます。

【看護・リハビリ学生には必読の一冊】

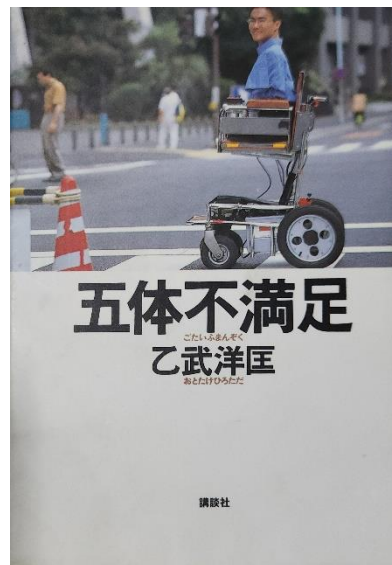
理学療法学科教員の稲葉です。皆さんへ推薦したい書籍は、乙武洋匡(おとたけ ひろただ)さんが著した「五体不満足」です。26年前である1998年10月に出版され、大ベストセラーになった不朽の名著です。当時、私は理学療法士を目指して昼間は病院で働き、夜は専門学校で勉強に励む学生でした。リアルタイムに本書を読み、医療人として大切なことを学ばせていただきました。

本書の「まえがき」は、母子の対面にて、お母さんが赤ちゃんである乙武さんを見て一言「かわいい」とつぶやき、周囲の不安を払しょくしたところから始まります。生い立ちのほか、当時は現役大学生であった乙武さんの日常は、サークルやら恋愛やら「その辺にいる大学生の日常」にしか思えない内容です。とはいえ、ところどころに「障害がある当事者」として、自身の「障害」と「周囲の人達の反応」などを考察している点が本書の特徴のひとつです。結局のところ、「障害は本人の周りにある人的・物的環境が作り出す」ということに行き着くといえます。

私は15年前に乙武さんの講演を拝聴しています。当時は教育分野で活躍されていました。参加者との活発なやり取りやボールを使ったパフォーマンスはとても印象に残りました。

学生さんには本書を手にとってページをめくりながら、あらためて「障害とは何か」、「障害があるからできないだろう」と思い込んでいるのではなど考えていただく機会になればと思います。

『五体不満足』 乙武洋匡 著 講談社 1998.10 背ラベル 916/オ 図書館登録番号:0001332



利用者の皆様に、是非とも引き続きご活用いただきますようご案内いたします。

【図書委員より一言】

12月から1月にかけて、図書館内は国家試験を控える学生さんたちの姿が目立つようになります。先輩たちが勉強に勤しむ姿を見て、後輩の皆さんは何かを学んでほしいと思います。近い将来のあなたの「姿」なのですから。私たちは皆さんを心より応援しています。



図書館長 澤
図書委員 清水、稲葉、青木、大星
司書 山北、高比良